

各 位

リアルコム株式会社
 代表取締役社長 龍 潤生
 (コード番号: 3856 東証マザーズ)
 問合せ先: 取締役 吉永正紀
 電話: 03-6864-4001 (代表)

剰余金の配当（中間配当・初配）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 26 年 12 月 31 日を決算日とする臨時計算書類の承認及び平成 26 年 12 月 31 日を基準日とする剰余金の配当（中間配当：普通配当＋記念配当（初配））を行うことを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、中間配当の実施にあたって、当社は過年度において繰越利益剰余金の欠損額を計上していることから、臨時決算を行い、平成 27 年 6 月期第 2 四半期累計期間（平成 26 年 7 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）の利益を分配可能額に算入しております。

記

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成 26 年 8 月 14 日公表)	前期実績 (平成 26 年 6 月期中間配当)
基準日	平成 26 年 12 月 31 日	同左	平成 25 年 12 月 31 日
1 株当たり配当金	5 円 00 銭 (普通配当 3 円 00 銭) (記念配当 2 円 00 銭)	未定	0 円 00 銭
配当金総額	25 百万円	—	—
効力発生日	平成 27 年 3 月 16 日	—	—
配当原資	利益剰余金	—	—

2. 理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と認識しております。当社の配当政策として、単体の業績、配当性向等に加え、企業グループとしての連結業績等の経営指標及び財務状況等を総合的に勘案して、株主の皆様への利益還元と内部留保充実のバランスを総合的に判断し、長期にわたる安定的な経営基盤の確立と業績の向上による継続的かつ安定的な配当を実施していくことを基本方針としております。

しかしながら、当社は、過年度における累積損失により、過去前期まで株主配当を実施しておりません。

このたび、平成 26 年 9 月 26 日開催の定時株主総会決議により、会社法第 447 条第 1 項及び会社法第 448 条第 1 項に基づき、資本金の額及び資本準備金の額を減少し、これらをその他資本剰余金に振り替えるとともに、会社法第 452 条に基づき、増加後のその他資本剰余金を繰越利益剰余金に振替え、欠損の填補に充当したことにより、当期第 2 四半期において累積損失が解消されました。

当期の配当予想につきましては、平成 26 年 8 月 14 日付けで「未定」と公表しておりましたが、その前提として、上記の累積損失が解消されることを鑑み、平成 26 年 12 月 31 日を決算日とする臨時計算書類の作成を行い、取締役会において、当該計算書類及び平成 26 年 12 月 31 日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）の決議を行うことを予定しておりました。

今回、上記予定通り当該手続き等を実施したところ、当期の業績及び財務状況等を総合的に勘案して、当期の第 2 四半期末配当金につきましては、1 株当たり普通配当 3 円を実施するのに加え、株主の皆様へ感謝の意を表するため、上場以来初の配当を記念いたしまして 1 株当たり記念配当 2 円を実施し、合計 1 株当たり 5 円とさせていただきますことといたしました。なお、当期の期末配当予想につきましては、引き続き「未定」とさせていただきます、確定次第、速やかに公表させていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(参考) 当期配当予想

基準日	1株あたり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
配当予想		未定	未定
当期実績	5円00銭		
前期実績(平成26年6月期)	0円00銭	0円00銭	0円00銭

3. 臨時決算日

平成26年12月31日

4. 臨時計算書類の概要

	科目	金額(百万円)
平成26年12月31日現在	資産合計	1,223
	純資産合計	764
	利益剰余金	107
平成26年7月1日から 平成26年12月31日まで	売上高	99
	営業損失	4
	経常利益	120
	臨時期間純利益	107

以上